

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:31年 2月 28日

事業所名: 多機能型事業所
療育ルームいろは・放課後クラブびあ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2	2	0	聴覚過敏に配慮し、個室や面談スペースを適宜提供している。	21	5	2	2	走り回れる広い場所がない。やや狭い。	子どもの体調に合わせた個室の確保などを調整する職員を置く。
	2 職員の適切な配置	2	2	0	マンツーマンや個別対応ができるよう十分配置している。	24	3	0	2	自宅でのアドバイスがもう少し欲しい。職員によって専門性に差があると感じる。	子どもの混乱や発作に対応できるよう事務職員も協力する。計画的な研修を行い人材育成に取り組む。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	0	0	物理的構造化、視覚支援の整備を行っている。	23	2	0	3	最初見学で見てから見ていない。	児発ではモニタリング時にVTRをお見せしているが、希望者には室内案内を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	0	0	クレペリンの設置、定期的なアルコール消毒をおこなっている。	23	3	0	2	仕切りの衛生面が気になる。	定期的に仕切りのホコリ取りを行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4	0	0	全職員参加の職員会で、改善点や状況報告を行っている。	/	/	/	/	/	/
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	3	1	0	第三者委員さんに状況報告を行ったり、来所見学していただきアドバイスをいただいている。	/	/	/	/	/	/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	1	0	社内、社外での研修を年間計画をもとに行っている。	/	/	/	/	/	/
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	3	1	0	保護者のニーズと事業所の提供可能な支援について十分分析したい。	29	0	0	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	0	0	日誌を項目チェック式にしており、全職員が計画内容を把握できるようにしている。	28	1	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標					
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見				
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成				4	0	0							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4	0	0		26	2	0	0		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	3	1	0	担当制にしている。						
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	3	1	0	年間計画による行事の実施 小集団活動の年間計画あり	26	1	0	1	運動プログラムが欲しい。	トランポリン設置済み。 その場での屈伸運動課題導入済み。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	1	0	本人の様子に合わせて活動の種類や時間を日々調整している。						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	4	0	0	毎日、支援前ミーティングあり						
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	2	2	0	振り返り、報連相を適宜行っている。					個別支援のための打ち合わせ会議を定期的に行き、職員間で情報共有を深める。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	0	0							
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4	0	0							
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	0	0							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/	該当なし	/	/	/	/		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	該当なし	/	/	/	/		
関係機関との連携(続き)	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	1	0	保護者の希望に合わせて実施	/	/	/	/		
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	3	1	0	保護者の希望に合わせて実施	/	/	/	/		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	0	0	支援会議、サポートファイル作成時に連携あり	/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	1	2	全利用児平等に適切な機会を提供することが難しいと考える。希望者には支援グッズを提供し、保護者やヘルパーとの地域参加が行えるようにしている。	12	4	5	8	交流を行うことがすべての利用児に有効とは限らない。	未就園児について、希望があれば地域での交流の機会などを調べてお伝えする。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2	0	2	地域行事に参加し、事業所紹介を行っている。	/	/	/	/		福祉センター内にあるため、難しいと考える。センター祭り時などでの室内見学を検討する。
保護者へ	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	0	0		28	1	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
の 説明 責任 ・ 連携 支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	0	0		29	0	0	0		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	1	0	月1回の学習会を行っており、障害特性の理解、関係機関連携、支援グッズ作成体験など保護者に無料で提供している。	26	1	0	2	勉強会にもっと参加したい。勉強会に参加しても保護者としゃべる時間が短い。	事業所主催の勉強会を月1回行っているが、よりたくさんの方に参加していただけるよう、日時やプログラムを改善していく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	0	0		26	3	0	0	お迎え時の報告が少ない時がある。 やった課題の実物を見せてほしい。	送迎時に自立課題などの現物を保護者に見せる。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	0	0	連絡帳の使用、送迎時の相談、電話相談など適宜行っている。	26	3	0	0	困りごとに丁寧に指導いただいている。 お願いしたら相談を聞いてもらえる。 連絡ノートでの相談に即対応いただいている。	即日対応を基本に周知する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2	2	0	保護者対象の勉強会で座談会を催したり、保護者同士知り合うきっかけになっている。	18	4	1	3	父母会の開催希望あり。	Study倶楽部で座談会を定期的に開催する。 他機関からの勉強会や茶話会などの情報をわかりやすく提示する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	0	0		16	1	0	9		契約更新時に苦情窓口の設置を毎回伝える。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	0	0	視覚支援を行い、言語理解を補う工夫を支援全体に取り入れている。	24	1	0	1		
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	3	1	0	通信の定期発行(月1回)とブログ。	22	1	0	3	ブログがあるのを知らない。	事業所入り口にブログ原稿を掲示する。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	0	0		25	0	0	0		
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	4	0	0	入り口にマニュアルファイル設 置。 職員会にて訓練、実践練習で周 知を行っている。	22	3	0	1	直接詳しく説明してほしい。	契約時にマニュアルを簡単に 説明する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	福祉センター合同の訓練や独自 の防犯訓練など、定期的に行っ ている。	19	0	0	7		訓練後は実施報告を掲示す る。
非常時等の 対応（ 続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確 保等の適切な対応	4	0	0	職員に対する虐待防止、ストレス チェックアンケートと職員の個別 面談の実施（半年に1回）						
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画への記載	4	0	0	カームダウンの必要な利用児に ついて、個別支援計画に盛り込 み、保護者の許可を得ている。						
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応	4	0	0	保護者の申し出があれば、個別 対応している。						
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	4	0	0	職員会で定期的に確認をとって いる。虐待防止委員会を実施し、 報告している。						